

11月留学レポート

エストニア日本文化の日のお手伝いをさせていただきました。ミーティングや打ち合わせなどをしたあと少し時間があつたので、イベントに参加していた方々とお話しました。大学で必修だから来ている方やワーキング・ホリデーできている方、また、エストニア人の方々も参加していて、タリン大学で日本語を学んでいる方や教えている方が来ていました。その後すぐに朝礼の時間になりました。朝礼では日本の体操を披露するために日本人の参加者全員でラジオ体操を踊りました。私の持ち場は金継ぎと茶道でしたが、金継ぎは専門的な知識が必要になるそうなので、私達に手伝えることはないと言われてしまいました。また茶道では二人の外国人の方がいて、一人は着物を着て、もう一人は茶道を立てながら着物の説明という形で、私達はお抹茶や和菓子の配膳をしました。茶道の講演は三回あって、ちょうどお手伝いの子が三人だったため、分担することになり、手伝うことがあまりなかったのも、空いた時間は折り紙教室を手伝っていました。折り紙は日本文化の中で比較的有名なこともあり、たくさんの外国人の方が訪れていました。鶴やちょうちょや小箱などに苦戦しながらも楽しそうに挑戦されていてこちらも楽しかったです。他には書道やイラスト、花札やチンチロリン、任天堂などのゲームなどの紹介がありました。お昼ご飯はおにぎりが2つずつ配られました。お米を食べるのは久しぶりだったのでとても美味しかったです。また、エストニアの伝統的な飲み物やお菓子なども出て、食べたことのないものもあり興味深かったです。また、個人でスピーチをしている人もいて、関西弁についてや、合気道、ロボコンや剣道についてなども紹介されていました。閉会式では篠笛の演奏やよさこい演舞の披露などもあり、面白かったです。閉会式のあとは、「若おかみは小学生！」の映画の上映もやっていました。解散後私達交換留学生は、行ける人たちだけで打ち上げをしようということになり、主催者の方の知り合いの方が働いている「IZAKAYA TARO」という日本食のお店に行きました。カレーやラーメンやおにぎりなどいろいろなものが売っていて、味も日本食に近くて美味しかったです。

ホストマザーのおじの誕生日パーティーに行きました。元小学校のようなところを貸し切っているようで、とても沢山の人が集まっていました。広間にはDJもいて音楽が流れており、ダンスタイムがあつたりと楽しかったです。外では馬が飼われているらしく、見に行けるそうなので見に行ってみると想像以上に大きくて驚きました。触ることもできたのでとてもいい経験になりました。

私の誕生日プレゼントということでホストペアレンツがバレエに連れて行ってくれました。日本では見たことがなかったのですが、こちらでは割と日常的に楽しまれているようです。音楽の教科書で見たようにステージと客席の間には本当にくぼみがあって、そこにオーケストラがいました。私は最前席だったので少し除けば演奏者のみなさんが演奏しているところを見ることができて、とても興味深く魅力的でした。演目はくるみ割り人形でした。

家に帰ってくると、近所の子供達が訪ねてきて、歌を歌ったりなぞなぞ(クイズ)を出したりしていました。Mardipäevというエストニアの伝統的な日だそうで、子どもたちがMardiという男の人に仮装してなぞなぞや歌を披露してお菓子をもらうハロウィンと似ているイベントです。クラスメイトが訪ねてきて、誘われたので私も参加しました。穀物を投げて幸せを願ったり、動物の鳴き真似をしました。

留学団体で南エストニアへのトリップがありました。オリンピックセンターに行ってエストニアのスポーツについてや金メダリスト、競技の疑似体験や古い実況、ドーピングについてなど、いろいろなものが体験できて面白かったです。また氷河期センターに行って氷河期の時代の生物や地層などについても知ることができました。その後タルトゥを観光して、タルトゥ大学など現地の人々の言い伝えがある場所等を周りました。

初雪が降りました。諸説ありますが、エストニアの国旗は一番上が空、真ん中が木や大地で一番下が雪という説があり、私はずっとその景色を見てみたかったので、実際に見ることでとても感動しました。

ホストファミリーと一緒にタリンに行きました。広場ではクリスマスマーケットが開かれていました。ジャーキーや綿あめ、ソーセージやホットココアなどの飲食物のお店もあれば、オーナメントやクリスマスの飾りを売っているお店もありとても可愛らしく、引き込まれました。また、普段はないのですが、アトラクションやサンタの家なども立っていてとても可愛らしかったです。またショッピングモールにもクリスマスのグッズがたくさん売っていて、オーナメントショップがオープンしていたりと、街はもうクリスマス仕様に気分が浮きます。

ホストファミリーと一緒に旅行に行きました。私が住んでいるところよりも北に向かったのがたくさんありました。最初にvalasteという滝へ行きました。地層がきれいに見えました。その後Noorus Spa Hotelで友達家族と合流し、プールやサウナを楽しみました。とてもいろいろな種類のサウナがあり、楽しかったです。夕食はホテルのレストランで取り、友達の誕生日だったのでお祝いをしました。翌日はホテルで友達と別れてから、ロシアとの国境であるNarvaへ向かいしました。そこにはエストニアとロシアをまたいで作られた古い建物がああり、中を見学することができました。昔の外見や道具がそのまま置いてあって、昔の人々の生活がわかりました。

学校でクラストリップがあり、警察博物館に行きました。そこでは指紋採取や血痕の探し方、実際に操作で使う機材やその使い方、などを教えていただきました。私達は実際に器具を使って自分の指紋を採取してみたり、木材についている血痕を綿棒で探したりすることができました。また、希望者のみで、眼球の解剖をして水晶体を探す事もでき、私も参加させていただきました。また、特別な人体模型を使って司法解剖のやり方などについても教えていただきました。心臓の模型などもあり、想像していたよりも重くて驚きました。

クリスマスへ向けての準備として、ホストマザーとクリスマスリースを作りました。近くの森へ行ってもみの木の枝やいろいろな植物などを収穫してきて、紐などを使ってリース型にして、家にあった赤い実やクリスマス用のストリングライト、リボンなどを使って作りました。

クリスマスツリーの下に飾るストッキングをフェルトで作りました。靴下にお菓子を届けてくれるエルフもつくりました。

11月30日、靴下にはお菓子とオーナメントが入っていました。また、夜は教会でクリスマスコンサートがありました。私が参加している合唱団も参加し、エストニアのクリスマスの歌を歌いました。いろいろな団体が参加しており、とても楽しかったです。コンサートが終わると、みんながろうそくを持ち寄って街のクリスマスツリーの下に集まり、歌を歌いました。ジンジャーブレッドやホットワインなどが配られていました。その後、キャンドルをツリーの下に並べました。フィルムが貼られているものもありカラフルできれいでした。

町はもうクリスマスへ向けての準備が着々と進められており、クリスマスムードが高まってワクワクします。

JAAPANI KULTUURI KODA

VII JAAPANI KULTUURI PÄEV

NOV
01 | 11:00
16:30
SAKU GÜMNAASIUM
TEADUSE 1



SPONSORID



TOETAVAD

JAAPANI SUURSAATKOND EESTI

日系コミュニティ大使館



SAKU
GÜMNAASIUM



SAKU VALD
Lääne-Eesti arenduskeskus



SAKU VALD













↓エストニアの国旗の元になったと言われている景色



↓クリスマスマーケットの様子



















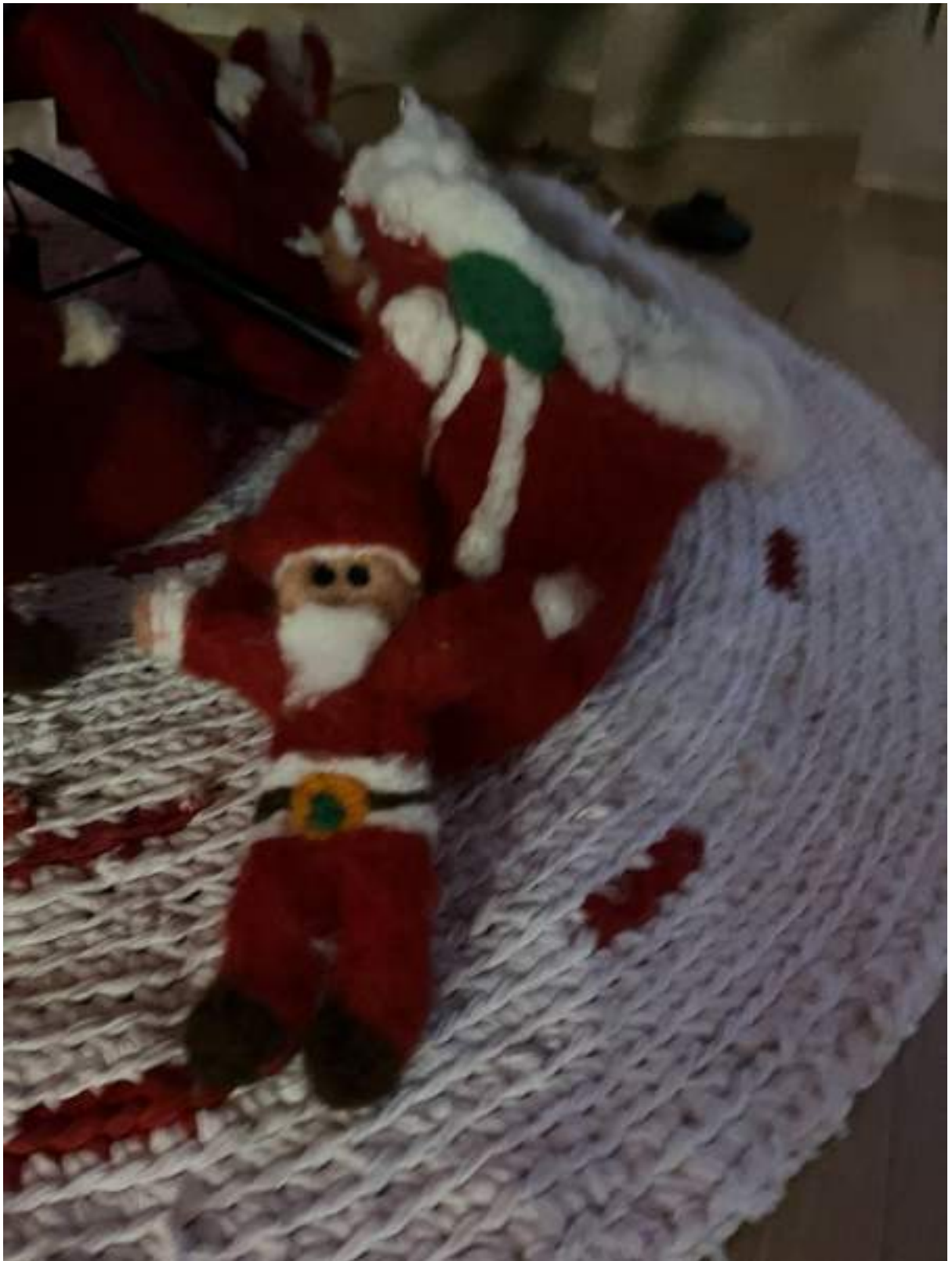














エストニア日本文化の日について↓

https://www.ee.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20251101.html

https://note.com/jpee_estonia/n/n0bc6e7603c30